

外国語

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
外国語	ハングル	2	3年次・L2群	選択履修

目 標			履修の条件・連絡		
文字の読み書きを習得し、基本的な日常会話を使えるようにする。実際に韓国に旅行したときに、最低限必要な知識を得る。			20名を上限とし、希望者が多い場合は国際教養系列の生徒を優先する。		
使用教科書 (出版社)	好きやねんハングル (白帝社)		副教材 (準備物)	なし	
学 習 の 年 間 計 画	期	月	学習内容(単元・項目)	学習のねらい	
	1 学 期	4月	文字と発音	・ハングルについて、基本的な母音、子音、濁音、激音、濃音、パッチム、連音について、読んだり書いたりできるようにする。	
		5月	文法 第1課 私は上田有紀です	・「～です」	
		6月	第2課 家はどこですか	・「〈何/どこ/だれ〉ですか」	
		7月	第3課 誕生日はいつですか 第4課 食堂は体育館のとなりにあります	・疑問詞 ・数詞 ・平叙文「～がいます/あります」・位置を表す言葉	
	2 学 期	9月	第5課 姉のです	・指示語 ・所有の表現	
		10月	第6課 何がしたいですか	・用言(動詞や形容詞) ・「～したいです」	
		11月	第7課 日曜日にはギターの練習をします	・語尾の変化	
		12月	第8課 何を食べますか 第9課 京橋駅で会いましょう 第10課 舞妓さんは見ることができませんでした	・否定文「～しない」 ・予定を表す表現 ・過去形 ・否定文「～できない」	
	3 学 期	1月	1年間の復習		・1年間に学んだことを復習し、定着を図る。
2月					
3月					
学 習 評 価	観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
	規 準	積極的に授業に参加したか。	読み書きができるか。習得した表現を使えるか。	読み書き、聞き取りができるか。	十分な量の語彙を身に付けたか。
	手 段	・授業	・授業 ・考査	・授業 ・考査	・授業 ・考査
	各学期や年間の学習状況の 評価方法	・定期考査年5回 ・定期考査と平常点を2対1の比率で評価する。 ・平常点には授業態度、提出物の状況、小テストの結果などを含む。			
学習上の 留意点	・間違いを恐れず、授業中にできるだけたくさん発音したり、話したりする。 ・実際に言語を使えるようになるには、計画的に復習をすることが不可欠である。 ・他国の文化を尊重し、積極的に理解しようとする姿勢が大切である。				